

W. W. H. 1520A-2

ナチの陰謀と侵略の抜萃

第六卷第八七頁、第八八九頁

文書C-166号の翻譯

(一九四四年一月十日、カークターと署名された、アスマン提督に対する専用覚書)

一、 参謀府校限り、

a. バーバロッサ

三、 當時(前記aの1)、 總統は、ドイツに対するロシアの

態度如何に拘はらざりしニ、ロシアの態度なるものは

入手する情報に依れば屢々変更して居たか、
ロシアに
対する

奇龍衣政敵手と断乎と決意して居た。 松岡への

通信は全くカモフラージュの手段として、且奇龍衣を

確實ならしめるために計畫されたものである。

總統は松岡に真相を告げること書いた手紙に

就て心配して居た。

彼は当時或命令に於てさう私に話した。

638